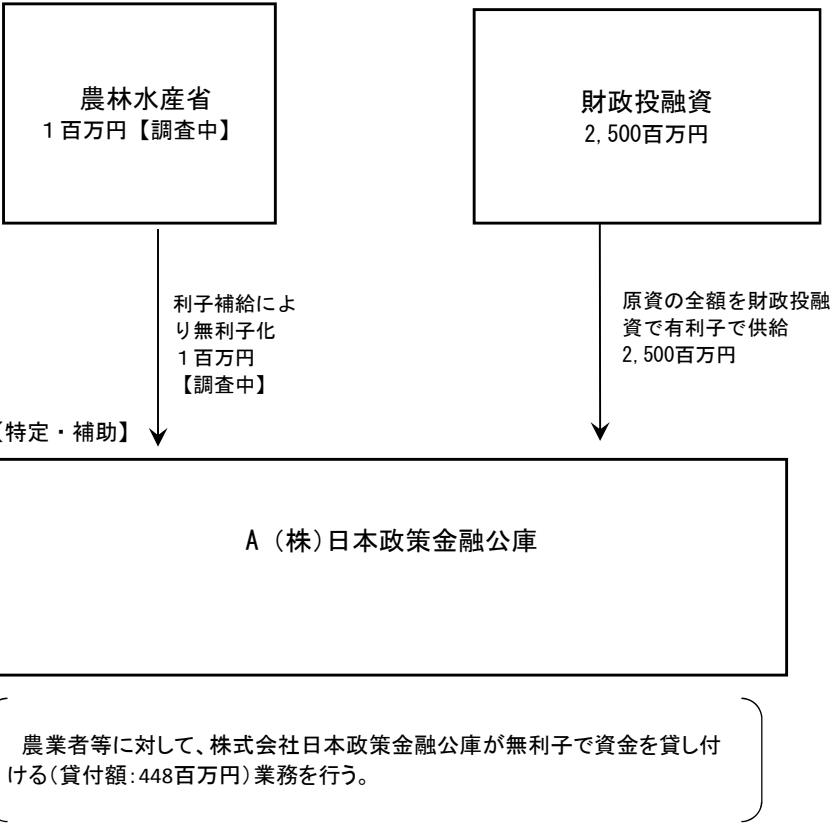


平成24年行政事業レビューシート(復興庁、農林水産省)																	
事業名		農業改良資金利子補給金(復興関連事業)			担当部局庁		作成責任者										
事業開始・終了(予定)年度		平成23年度～未定			担当課室		復興庁統括官付参事官(予算会計担当) 農林水産省経営局金融調整課		参事官 尾関 良夫 課長 村井 正親								
会計区分		一般会計・東日本大震災復興特別会計			施策名		⑤意欲ある多様な農業者による農業経営の推進										
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		農業改良金融通法第9条			関係する計画、 通知等		農業経営改善関係資金基本要綱 農業改良資金制度運用基本要綱										
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)		東日本大震災に被災した農業者等が行う復旧・復興のための取組を支援するため、農業改良資金について無利子で日本公庫が貸し付けるための利子補給金を交付することにより、被災農業者が必要とする資金の融通を円滑にする。															
事業概要 (5行程度以 内。別添可)		政府は、被災農業者等が借り入れる無利子資金である農業改良資金について、当該貸付けについて常に発生する逆ざやを解消するため、調達金利と貸付金利の差額を日本公庫に対し利子補給するものである。 ※平成24年度以降は、復興庁で一括計上し、予算執行は農林水産省で実施。															
実施方法		☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他															
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		予 算 の 状 況		21年度		22年度		23年度		24年度		25年度要求					
				当初予算		—		—		—		63(復興庁計上)					
				補正予算		—		—		30(農林水産省計上)		—					
				繰越し等		—		—		—		—					
		計		—		—		30		63							
		執行額		—		—		1(調査中)									
		執行率(%)		—		—		3									
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)		成果指標						単位		21年度		22年度		23年度		目標値 (年度)	
		・農業総産出額に対する日本政策金融公庫資金(農業経営向け)の貸付残高指数(12%を目安として維持) ・農業改良資金について、25億円の融資枠を目安として、被災農業者等への資金融通の円滑化を目指す。 ※下段()書きは年度目標値、上段は年度実績値				成果実績		指標 (目標値) (%) 融資実績 (億円)		—		—		— (12) 4 (25)		—	
						達成度		%		—		—		— 16%			
		活動指標						単位		21年度		22年度		23年度		24年度活動見込	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)		融資実績				活動実績 (当初見込み)		億円 融資実績		—		—		4		—	
								(融資枠)		—		—		(25)		(25)	
単位当たり コスト		46(千円/件)【調査中】				算出根拠 【P】		利子補給金実績(639千円) ÷ 貸付残高件数(14件)									
平成24・25年度 予算内訳	費目		24年度当初予算		25年度要求		主な増減理由										
	農業改良資金利子補給金		63														
	計		63														

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	①23年度新規貸付分に係る利子補給率を当初2.38%と積算していたが、貸付実行が開始された以降の同補給率が1.41%と低利傾向となったこと ②23年度貸付額が、以下の理由から4億円にとどまっていること ・3次補正予算の成立が11月末となったことから、復興融資枠25億円に係る貸付実行が第4四半期にずれ込んだこと ・被災地においては、今のところ新規性やチャレンジ性が必要な農業改良資金よりは、単純な設備復旧や運転資金がニーズの中心となっているほか、行政認定不用の主務大臣指定施設資金(災害復旧)など他の資金で対応されていること等から予算の不用額が出ている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	【成果目標の達成度及び活動実績が「△」の理由】 ・3次補正予算の成立が11月末となったことから、復興融資枠25億円に係る貸付実行が第4四半期にずれ込んだこと ・被災地においては、今のところ新規性やチャレンジ性が必要な農業改良資金よりは、単純な設備復旧や運転資金がニーズの中心となっているほか、行政認定不用の主務大臣指定施設資金(災害復旧)など他の資金で対応されていることにより、融資率が16%にとどまったため。 【融資と補助の比較】 融資は補助金に比べて少ない財政支出で効果を発揮しうる政策手法として位置付けられる。
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	23年度貸付額については、 ・3次補正予算の成立が11月末となったことから、復興融資枠25億円に係る貸付実行が第4四半期にずれ込んだこと ・被災地においては、今のところ新規性やチャレンジ性が必要な農業改良資金よりは、単純な設備復旧や運転資金がニーズの中心となっているほか、行政認定不用の主務大臣指定施設資金(災害復旧)など他の資金で対応されていることから、融資率が16%にとどまったが、来年度は当該事情が解消され、実績は向上するものと考えている。 農業改良資金貸付事業は、生産・加工・販売分野のチャレンジ性のある取組を無利子で後押しする事業であり、「食料自給率の向上」や「6次産業化」に資する極めて重要な政策ツールであることから、国が実施すべき事業である。		
予算監視・効率化チームの所見			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	復興－0017

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。費目
 と使途の双方で
 実情が分かる
 ように記載)

A.(株)日本政策金融公庫			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
農業改良資金利子補給金	日本公庫への利子補給	1【調査中】			
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社日本政策金融公庫	日本公庫が貸し付けた農業改良資金について、調達金利と貸付金利の差額を利子補給。	1【調査中】	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					